

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス : kaikoku@section.metro.tokyo.jp

HP アドレス : <http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>

4代目大島丸 お別れ出港

12月7日(土) 13:30に、4代目となる大島丸が23年の役目を終え、波浮港を出港いたしました。

見送りに、本校生徒をはじめ卒業生、保護者、関係者等の多くの方に来ていただきました。無事に波浮港を出港し、売船に向けて三崎港へ向かいました。

大島丸のお別れ出港のために来港していただきありがとうございました。



～ 留学生が来ました！ ～



9月2日より Jan Samuelle Gonzales (ヤン・サミュエル・ゴンザレス) 本校に留学しています。カナダ・カルガリー出身で好きな食べ物はかつ丼です。

2Aに所属をし、「元気で明るい海国生と過ごすのが本当に楽しい！カナダに帰りたくない。」と話すほど海国生活を楽しんでいます。本校生徒が一斉帰省の時は第三中学校でも授業見学の受け入れをしていただき、休日には陶芸教室に参加するなど大島の皆さんに支えていただいております。インタビュー記事が「広報おおしま1月号」に掲載予定です。ぜひご覧ください。

～ 英語スピーチコンテスト報告 ～



9月16日(月)、B組の河井さん(写真左)と原藤さん(写真右)が小田原ライオンズスピーチコンテストに参加してきました。本大会では、小田原高校など神奈川県各進学校より、総勢22名が出場しました。2人とも6月の下旬からスピーチの準備を開始し、500単語以上のスピーチを英文で作成し、その内容を全て暗記して大会に臨みました。放課後や休み時間、夏休み中も本当に良く頑張っていました。本番では、その努力の成果が十

二分に表れたスピーチを披露し、その結果、原藤さんが見事優勝しました。副賞として、1 か月間の海外派遣に推薦されます。この経験を機に、これからも様々なことに挑戦していった欲しいと思います。

2A 担任 野口 美紀（英語科）

～ブリティッシュヒルズ（2 学年国際系）～

11 月 5 日～11 月 8 日に 2A の生徒 30 名（引率：増子、野口、山田、陣野）が福島県ブリティッシュヒルズでの語学研修に参加をしました。

バスで山を登るとまるでハリーポッターの世界を再現したかのような施設が出現します。生徒たちの英語学習へのモチベーションも高まりました。日中はスピーチスキル・発音練習やクリケットなどの実技科目の受講、授業後はテーブルマナー講習やイギリスのコインゲームを楽しむ生徒もあり、充実した研修内容でした。

「この研修に送り出してくれた両親に感謝したい。」との生徒の感想も多数ありました。研修に携わった方への感謝を忘れず、全員が協力できた素晴らしい行事でした。

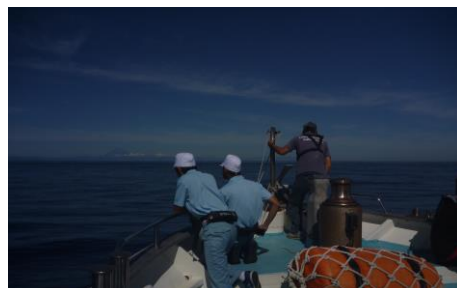
国際部主任 陣野 俊彦（英語科）



鯨類調査

10 月 5 日と 6 日に東京海洋大学鯨類学研究室の准教授や大学院生らとともに本校小型実習船の「みはら」で大島近海の鯨類調査を行いました。参加した生徒は、ボランティア部と生物部の生徒です。事前の金曜日に学生の方からクジラの生態や洋上での見分け方についてレクチャーを受けて、本番に臨みました。航程は、波浮港を出て大島を左回りに一周しました。午前中は、天気・海況もよく観察には最適な状況でしたが、なかなか姿を見ることはできませんでした。お昼直前に島の北東を航行中、少し風が吹いてきて水面が波立ってきたその時でした。大学の先生方が合図を出しました！船首方向にクジラを見ることが出来ました。しかし、姿は短い間だけで何回も見ることができませんでした。その後、正午過ぎにもう一度別の個体の姿を見ることが出来ました。それからは残念ながら姿は見られず、その日の調査は終了しました。翌日は、天気予報通り強い風が吹き始め、海況も徐々に悪化するとの予報でしたので、中止となってしまいました。

今回の調査から、大島近海でも海面や海中には鯨類が生息しており、彼らの好む環境がまだまだ残されている場所であることを実感しました。今後寒くなってくると、極域で餌を食べていたザトウクジラの南下が始まります。そのような大型のクジラを是非、またこのメンバーで見たいものですね。



台風15号による校舎被害による復旧状況について

9月8日未明に襲来した台風15号により、B棟（海に面した棟）及びA棟の一部教室、部室棟、体育館の窓ガラスが割れる被害を受けました。B棟に関しては窓ガラスがほぼ全面にわたり割れ、そのことにより教室全体が雨水や潮水を被り、天井が風圧により押し上げられ天井が崩落しそうな状態でした。また、体育館の屋根の一部が剥がれ、雨の日には体育館の半面が雨漏りによって水浸しになり床の変形やワックスが剥離する状態でした。

被害は校舎等の建物だけでなく、グラウンドにも影響が及びました。割れたガラス片がグラウンドに散乱、風圧により防球ネットが破れるなどの被害もありました。

このようなことから特別時間割を編成し、A棟とドミトリ（寄宿舎）で授業を行うこととなり、現在もそのような状態で授業を行っております。

現在は、割れた窓ガラスの全てが復旧及びグラウンドの防球ネット、崩落しかけた教室の天井も修復されました。また、体育館の屋根もほぼ修復されました。

今後の工程として、教室の床・壁等の洗浄、カーテンの設置、電気系統の修繕、体育館床の修繕などを行います。修繕終了後に安全確認のための検査後、教室などの施設が使用できる状態となります。

暫くはこのような状態が続きますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



新たな歴史

「チーム大島」として2年目、ついに歴史の一步を踏み出しました。

本校サッカー部は昨年度より、プレーできる部員数が11人揃わない状況の場合に、都立大島高校サッカー部と合同チームを組んで大会に出場してきました。今回の新人選手権大会でも合同チームを組むこととなりました。過去4度、合同チームで出場しましたが、全て敗戦してきました。今大会は「チーム大島」として5度目の挑戦です。

初戦は、11月24日（日）に都立田園調布高等学校と対戦しました。前半15分に相手チームの左サイドのクロスからヘディングシュートを決められ、早々に先制点を与えてしまいました。その後、攻め込まれるシーンが幾度もありましたが、ディフェンダーが体を張って守り続けました。前半終了直前、PKを獲得し得点に繋げ、前半を1対1で折り返しました。

後半開始後はどちらも譲らぬ展開が続いていましたが、フォワードの突破から追加点を奪うことができました。立て続けに得点し、後半20分時点で3対1とリードしました。しかし、その後PKの献上とクリアミスから立て続けに2失点し、後半30分時点で3対3の同点となりました。残り7分のなったところで、フォワードが決勝点となる追加点をもぎ取りました。リードしてから試合終了までの7分間はまさに死闘。選手も、「大島のために」という気持ちを前面に出して戦い抜いてくれました。

試合終了のホイッスルと同時に崩れ落ちる幾人かの選手の姿を見て、いかに厳しい戦いであったかを

感じとることができました。

第2回戦目は12月15日（日）にT3リーグに所属している東京高等学校との対戦でした。スピード、パス精度、ポジショニングなど、多くの面で力の差を感じました。何度かシュートを放ち、相手ゴールを脅かすシーンもありました。しかし、試合終了まで得点を奪えず、結果0対10で大敗しました。当日、応援にお越しいただいた方々や、普段からサッカー部の活動を支えてくださっている方々のお陰で選手、顧問は最後まで戦い切ることができ、「チーム大島」として念願の1勝をあげることができました。本当にありがとうございました。そして、引き続きのご声援、どうぞよろしくお願いします。



連合駅伝

3年生男子チームが総合優勝を勝ち取った歓喜から1年。大島町駅伝競走大会が11月3日（日）に開催されました。今年度も大島をおよそ半周、24.38kmを6区間に分けて走る熱いレースが繰り広げられました。

本校からは4チームが出場しました。サッカー部と陸上部とカッター部員で構成された「開国シーマン」、野球部とサッカー部員（1名）で構成された「海国野球部」、潜水部で構成された「海国いか二貫配達向上委員会」、そして教員チームである「海国韋駄天連」。途中小雨が降りましたが、各区間の代表選手は、1本の襷をゴールである旧泉津小学校まで繋ぐべく懸命に走りました。残念ながら、5区スタート地点で先頭から20分以上経過し、白襷を受け取らざるを得ないチームが出てしまいましたが、全選手が自分の区間を最後まで走り切りました。

最終結果は、「海国野球部」が高校生部門2位、総合6位、「海国シーマン」が高校生部門3位、総合8位、「海国いか二貫配達向上委員会」が高校生部門4位、総合23位、教員チームである「海国韋駄天連」も職場部門1位、総合12位と、各チーム健闘しました。

当日は選手の保護者の方や大島の方々からたくさんのご声援をいただきました。本当にありがとうございました。

